



The Next Stage

令和3年度もよろしくお願ひします。

新年度のスタートにあたり



校長 白井 克昌

昨年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、臨時休業や学校行事の中止など、予想もしない出来事が続きました。これまで当たり前だと思っていたことができなくなり、様々な面で変化を余儀なくされました。一方で、丁寧に1年間を振り返ってみると、厳しい状況であったからこそ、新たな発見や地道な努力に挑戦することもできたのではないのでしょうか。この経験をプラス思考で捉えて新しい年度をスタートしていくことが大切です。

現在も新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、始業式や入学式も感染防止対策をして無事に行うことができました。引き続き感染防止対策を適切にして、授業をはじめ学校行事や部活動も創意工夫して取り組んでまいります。今年度からの新しい取組として、オンライン学習支援サービスを導入し、動画視聴による学習などができるようになりました。到達度テストを行って理解度を把握して「授業がわからない」から「授業がわかる」に変える指導を推進していきます。また、青井高校の生徒としての誇りを胸に帰属意識を高めるために、全校生徒が校章をデザインした徽章を着けることとしました。朝、校門の挨拶指導で徽章を胸に着けて嬉々として登校する生徒の姿は清々しさを感じます。さらに、生徒が学校生活を快適に送れるよう、教室のカーテン、廊下の掲示板を新しくしました。体育館のパイプ椅子を軽い椅子に変え、校門や自転車置場の屋根をペンキで塗り替えました。正門の校名版も新しく変え、生徒昇降口入り口に校章をつけました。国産木材の教卓を各クラスに、机とベンチを2階ピロティに設置しました。

今後とも「時を守り、場を清め、礼を正す」をスローガンに掲げ、生徒一人一人が「いつか輝く今をはじめよう」と決意して学校生活に取り組み、コツコツと努力を積み重ねて、社会で自信と誇りをもって活躍できるよう育成してまいります。



校章のいわれ

青井高等学校の誕生の地は、昔の水田地帯で緑豊かな田園風景、古利根の流れなど、自然のうおいにも富みサギソウも咲いていた。地鎮祭のおり、青井高等学校のできる運動場の隅にシラサギが餌をあさり、上空にも数羽が飛んでいた。「天に白鷺、地に鷺草」で、サギソウは鷺の姿をおもわせる。青井高等学校はこれから伝統を作っていく高校である。飛躍する高校である。おおいに羽ばたいてもらいたい思いを込めて作ったものである。



入学式の様子



第45期生入学式が4月7日に挙行されました。今年の新入生は男子107名、女子87名の計194名。新型コロナウイルス感染症対策を 실시実施致しました。感染症対策として、国歌斉唱と校歌紹介は歌入りのCDを流し、歌唱はせず、式の途中で換気を行いました。新入生と担任団の様子は、程よい緊張感に包まれており、厳かな入学式となりました。昨年度は断腸の思いで断念した入学式ですが、今年度は新入生のみなさんが青井高校への仲間入りをする瞬間を学校全体で迎えることができたことをうれしく思います。充実した学校生活を提供できるよう、教職員一同、準備していきたいと思ひます。



写真「新入生の言葉」



青井水族館



青井高校では、普段では生育する機会がないであろう生き物を育てています。また、このコロナ禍でしぼんでしまふような心を癒すためにも、ぜひ、三階生物室前にお越しになってみてください。

理科実習支援員の尾澤です。理科に関わる者として、理科分野のことに少しでも興味関心を持ってもらえればと思ひ、この4月から生物室で飼っている生き物たちを生徒の皆さんにも廊下から見られるようにセッティングしました。あくまで、個人の趣味で世話している生き物を入れた水槽がいくつか並んでいるだけで、「青井水族館」などと言われてしまうと、その貧弱さに恥じ入るばかりなのですが、高校の生物室らしく、いわゆる「観賞魚」ではなく、聞いたことはあるんだけどあまり丁寧に付き合っていない生き物を中心に集めています。

今は、海水水槽ではコシダカウニ(昨年9月に私が受精させたもの)、ワレカラ、4種類のヤドカリ、2種類のウミウシなどを展示しています。淡水水槽では日本古来のクロメダカを飼っています。

展示スペースにも器材にも限りがありますが、これからはちょっと変わった生き物を増やしていきますので、時折、3階生物室前の廊下を通っていただくとありがたいです。

また、生き物を飼うこと(特にちょっと変わった生き物)に興味がある生徒がいたら、一緒にこの生き物たちの世話をしてもらえたら嬉しいなと思ひています。希望者は直接でも間接でも構わないので、尾澤まで申し出てください。待っています。



写真「左からコシダカウニ、ウミウシ、ヤドカリ、ワレカラ」（撮影：尾澤理科実習支援員）」